

いきなり談話

大津町で誇れるものは？

10月号で募集した「大津町で誇れるものは？」にたくさんのご応募ありがとうございました。ここでは、コメントを紹介したいと思います。

- 「からいも」
 - よく沖縄に遊びに行くのですが、お世話になっている現地の知人からいもを毎回買ってきます。毎回、沖縄風にアレンジして調理してもらい、いろいろ試していますが、やっぱり焼き芋が一番ですね。
 - 大津町と言えば「からいも」だと思います。知人から大津のがおいしいと聞きます。
 - さつまいもも土が、空気が違うのでおいしさも違い、とてもおいしいですね。県外の友だちもおいしいといいますが、これから大津町の発展を楽しみにしていますし、友だちにも大津町の良さをアピールしていきます◎
- 「からいものモニュメント」

大津町に引っ越してきて、7カ月…。「わあ～大津だね～」って思ったのは、息子のポリオを接種しに行ったところにあるからいもの人形。からいも君？大津町だからこそ物で、私は一番と思います。
- 「人」

県外からお嫁にきましたが、人がやさしいし、元気で明るい人が多いなあと思います。なので住みやすい街です。
- 「自然」

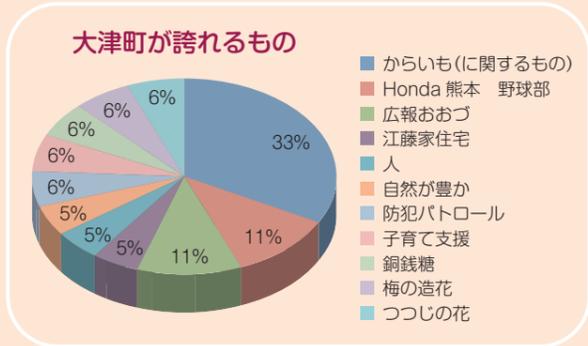
大津町のほこれるもの しぜんゆたかな町だと思います。
- 「防犯パトロールの皆さん」

朝夕ジョギングに励んでいます。そのコースでひんばんに住民による「防犯パトロール」の服装のかたを見かけます。年配のかたが多いですが皆さんシャキッと、と

ても頼もしく安心感を持てます。勿論、他の街でも同様でしょうけど大津町として誇れるものではないでしょうか。かくいう私も一員として頑張らせて頂いています。

- 「子育て支援」
 - 医療費が無料、妊婦健診も無料など、とても助かります。児童手当も1人目から1万円というのも魅力です。
 - 子どもももうすぐ3人目が産まれます。この町は子育てにとっても力を入れていてサークルなどもたくさんでうれしいです。心強いです!!
- 「銅銭糖」

わたしのおばあちゃんが毎日心をこめてつくっている、どうせんとうです
- 「広報おおづ」
 - 大津のことがもっと好きになる情報誌
 - 大津町の誇りは広報です。



皆さんが思っている、町の誇れるものがたくさんあることがわかりました。もしかしたら、大津町に眠っている「町が誇れるもの」がまだまだ多くあるのかも知れませんね。



ヒント
表紙と上の写真をよく見てください。
○○○○ハウスですよ。

スポーツの秋、読書の秋・・・そして「食欲の秋」です。せっかくならスポーツで体を動かして、お腹を空かせて食事を楽しみたいものですね。秋は、からいもの季節です。からいもいろいろな食べ方がありますが、いも天もおいしい食べ方の一つです。さて、表紙で大津高校生が食べている「いも天」、どこで買えるでしょうか？

広報クイズ

図書カードを5人にプレゼント!

10月号の当選者

- 当選者
- 黒田ゆかりさん(新)
- 佐藤 恵美さん(室)
- 西村 絵美さん(美咲野)
- 廣田 紘二さん(室)
- 古庄 可菜さん(室)

当選者には、直接発送します。楽しみにお待ちください!

■応募締切 11月20日(金)必着 ■答えと当選者発表 12月号に掲載
■あて先 〒869-1292 (住所不要) 大津町役場 広報クイズ係
※広報に関するご意見やイラストなどお待ちしております!

※イラストやご意見は広報紙に掲載することがあります。

Cultural Perspective

vol.13

Welcome to Ozu 大津へようこそ。

外国語指導助手
ティモシー・マクスウェル
Timothy Maxwell



Let's Learn English!

'Don't be afraid to try new things.'
「新しい事に挑戦するのを恐れないで(躊躇しないで)。」

'Try to be understanding of the differences in other people's culture.'
「他の人々の異なる文化の違いを理解してみましょう。」



初めての納豆 おいしいですよ!

現在、私は同じような日々を送るようになりまし。朝は味噌汁とご飯を食べます。毎日ニュースを見ますし、流行りの邦画も見ます。しかし、私が日本に来た当初は、とても円滑な日常生活とはいきませんでした。その失敗は今でもはっきり覚えています。だからこそ私はシェルビー先生を喜んでサポートしたいと思っています。

シェルビー先生が、かつて私の経験したのと同様の難題に取り組んでいる様子を見る度に、「私もそつだったなあ」と思います。経験があるからこそ彼女の気持ちをよく理解できる先輩のような気持ちです。

初めての外国ということだけでも大変ですが、彼女が来日した日は、私は日本のご事情について多くは伝えませんでした。ただ日本の生活で最も大切な単語

を三つ教えました。それは、水、給食、役場です。少々滑稽だと思われるかもしれませんが、彼女にとってはそれが最初に役立つ単語だと思ったのです。私は数日後、彼女を日本語教室に案内したり、仲の良い友だちを紹介したり、外国人がよくする失敗について教えたりしました(例えば、自分のお箸で他の人のお箸に食べ物を渡すこと)。

外国での暮らしにはいろいろな難題がありますから、新しいことに勇気を持って挑戦し、国の文化や立場をよく認識しなければなりません。写真を見れば分かるように、シェルビー先生は初めて納豆を食べることに勇気を持って、においを認識し、一口食べました。この様子から推測すると、シェルビー先生はすでに日本の生活に慣れていくでしょう。

区分	累計	9月中	前年比
大津署管内	1034	117	+102
うち大津町	218	34	-3
おもな発生犯罪			
乗物(自転車など)盗			11件
住居など侵入盗難			4件

子どもが犯罪に巻き込まれないように注意しましょう

最近、子どもたちが問題行動を起こす事件が年々増加し、深刻化しています。

犯罪関係の刑法犯で検挙された犯罪者の約3割が少年と言われています。

少年犯罪は、万引きや自転車盗が多いですが、凶悪犯罪に発展する可能性もあります。その背景は、子ども自身の規範意識の低下や地域や地域における教育力低下などがあります。自分の子どもや、地域の子どもの犯罪の加害者にさせないために、地域ぐるみで見守りながら地域全体で育てていきましょう。

犯罪に関する知識を正しく教えましょう

罪の意識を感じないまま、犯罪に子どもたちが加担するケースが増え、万引きや自転車盗、他人に迷惑をかけるような悪い行為や薬物乱用や援助交際が発展するケースもあります。

「犯罪に関する正しい知識」と「良い悪いをはっきり区別できる良識」を持つように、家庭での日々の会話を多くし、その中で教えてあげることが大切です。

家庭では、子どもと向き合ってください

子どもは、相談する相手や頼る人がいないと、不安が増し、犯罪などに走ります。

子どもへの関心を示せば、子どもはいつも見守られていると安心します。

日ごろからコミュニケーションをとり、子どもにちょっとした変化があれば、「何かあったの?」と話しつけてください。

子どもの変調などに、気にかけてください。

- ・帰宅が遅くなってきた。
- ・いつもより服装が派手になってきた。
- ・家族が知らないものを買ってくるようになった。
- ・自分の部屋に閉じこもるようになった。
- ・話すことが少なくなり、学校などの話をしないようになった。

安全安心なまちづくり
大津町生活安全協議会
役場総務課 地域安全係
☎(093)311-1111